

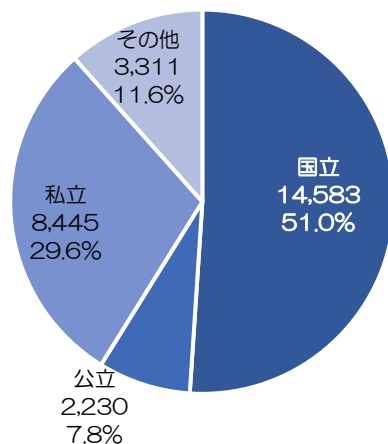
8. 研究(1)

8-1. 科学研究費補助金の研究機関種別配分状況（新規採択分）（2020）

				(単位：千円)				
	応募件数	採択件数	採択率	応募額	配分額 (直接経費)	配分額 (間接経費)	配分額 (合計)	
合計	104,158	28,569	27.4%	421,958,512	66,235,300	19,870,590	86,105,890	
内訳	国立	49,155	14,583	29.7%	244,986,397	40,473,600	12,142,080	52,615,680
	公立	8,272	2,230	27.0%	24,110,669	3,788,000	1,136,400	4,924,400
	私立	34,140	8,445	24.7%	94,780,232	13,511,600	4,053,480	17,565,080
	その他	12,591	3,311	26.3%	58,081,214	8,462,100	2,538,630	11,000,730

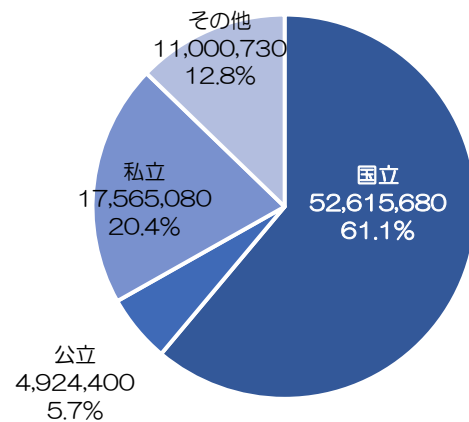
採択件数

(単位：件)



配分額（合計）

(単位：千円)



(注1) 2020年度科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（公募研究）、「学術変革領域研究」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的研究」（特設審査領域を除く）、「若手研究」、「研究活動スタート支援」及び「国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））」について分類。

(注2) 研究代表者が所属している研究機関により整理しているため、研究分担者の分担金を反映した配分の実態を示すものではない。

(注3) 四捨五入の関係上、合計と内訳の数値が一致しないことがある。

(出典) 日本学術振興会「研究者が所属する研究機関種別 配分状況表（令和2年度 新規採択分）」より国立大学協会事務局作成

8-2. 組織・学問別研究費（2020）

(単位：百万円)

	全体	国立	公立	私立	
総計	3,720,180	1,456,564	234,447	2,029,170	
自然科学	2,461,864	1,197,220	178,481	1,086,163	
	理学	349,167	256,495	17,158	75,514
	工学	724,539	440,816	37,877	245,847
	農学	149,259	96,553	10,753	41,953
	保健	1,238,898	403,356	112,692	722,850
人文・社会科学	838,427	129,139	37,391	671,896	
その他	419,889	130,204	18,575	271,110	

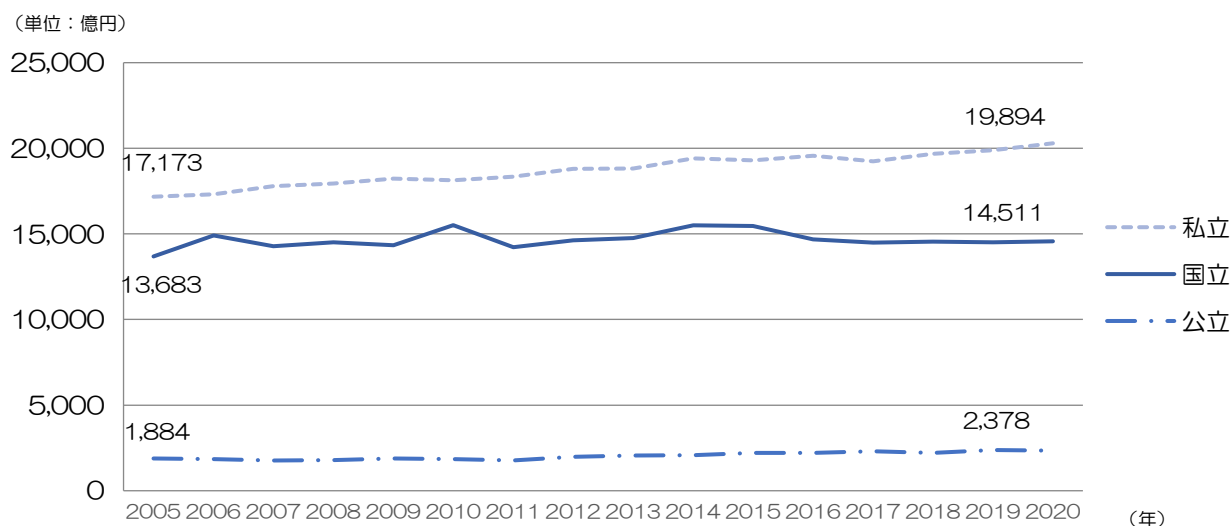
(注1) 研究費の内訳は、人件費、原材料費、有形固定資産購入費、無形固定資産購入費、リース料、その他の経費である。

(注2) 2020年に実施された調査の結果であり、研究費は調査年の3月31日又はその直近の決算日から遡る1年間の実績である。

(出典) 総務省『科学技術研究調査』（2020）より国立大学協会事務局作成

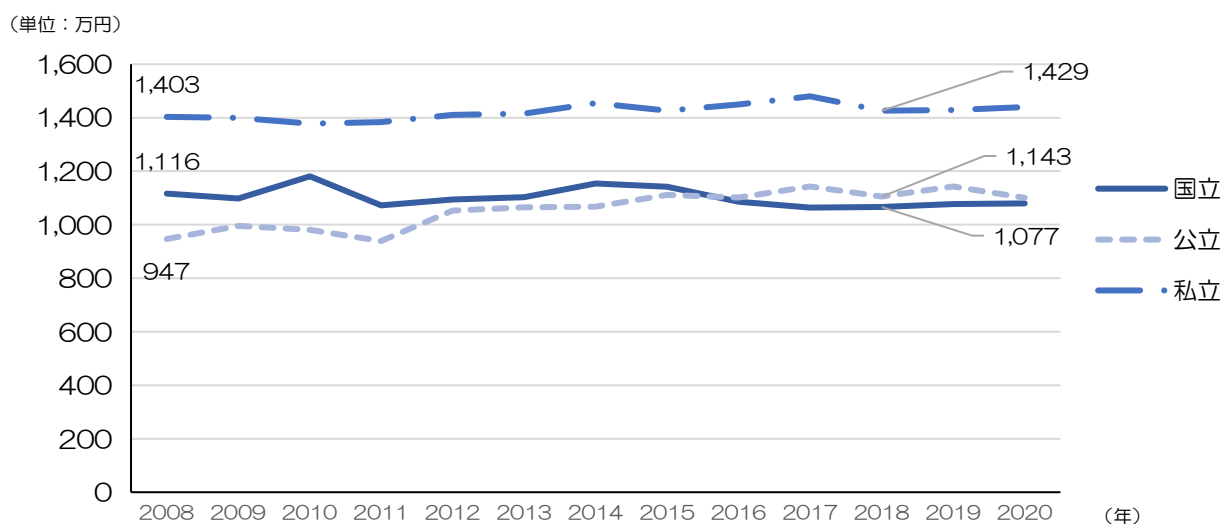
8. 研究(2)

8-3. 大学等における研究費の推移（人件費等を含む）



（注1）研究費の内訳は、人件費、原材料費等、有形固定資産購入費、無形固定資産購入費、リース料、その他の経費。
（注2）横軸は調査を実施した年であり、調査対象は各年の3月31日又はその直近の決算日から遡る1年間の実績である。
（出典）総務省『科学技術研究調査』（各年）より国立大学協会事務局作成

8-4. 教員1人当たり研究費（人件費等を含む）



（注1）教員とは、教授、准教授、助教、及び講師（本務者）である。
（注2）研究費の内訳は、人件費、原材料費、有形固定資産購入費、無形固定資産購入費、リース料、その他の経費である。
（注3）横軸は調査を実施した年であり、調査対象は内部使用研究費は各年の3月31日又はその直近の決算日から遡る1年間の実績、研究関係従業者数は各年3月31日現在の数である。
（出典）総務省『科学技術研究調査』（各年）より国立大学協会事務局作成

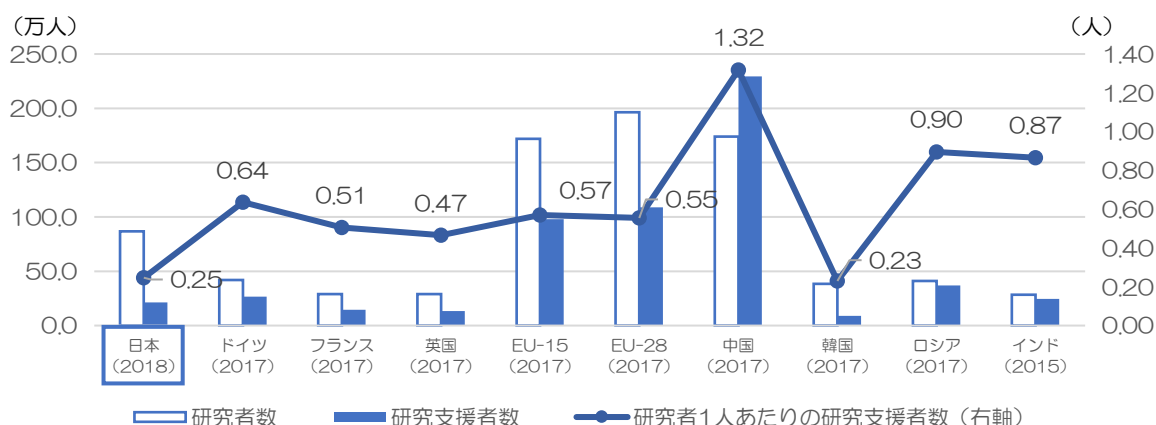
8. 研究(3)

8-5. 歴代のノーベル賞受賞者

受賞年	氏名	分野	出身大学	受賞時所属大学・機関
1949	湯川秀樹	物理学	京都大学	京都大学・コロンビア大学
1965	朝永振一郎	物理学	京都大学	東京教育大学
1968	川端康成	文学	東京大学	—
1973	江崎玲於奈	物理学	東京大学	IBMトーマス・J・ワトソン研究所
1974	佐藤栄作	平和	東京大学	—
1981	福井謙一	化学	京都大学	京都大学
1987	利根川進	医学・生理学	京都大学	マサチューセッツ工科大学
1994	大江健三郎	文学	東京大学	—
2000	白川英樹	化学	東京工業大学	筑波大学
2001	野依良治	化学	京都大学	名古屋大学
2002	小柴昌俊	物理学	東京大学	東京大学
	田中耕一	化学	東北大学	島津製作所
2008	小林誠	物理学	名古屋大学	高エネルギー加速器研究機構
	益川敏英	物理学	名古屋大学	京都産業大学
	南部陽一郎	物理学	東京大学	シカゴ大学
	下村脩	化学	長崎大学	ボストン大学
2010	鈴木章	化学	北海道大学	北海道大学
	根岸英一	化学	東京大学	パデュー大学
2012	山中伸弥	医学・生理学	神戸大学	京都大学
2014	赤崎勇	物理学	京都大学	名城大学
	天野浩	物理学	名古屋大学	名古屋大学
	中村修二	物理学	徳島大学	カリフォルニア大学 サンタバーバラ校
2015	梶田隆章	物理学	埼玉大学	東京大学
	大村智	医学・生理学	山梨大学	北里大学
2016	大隅良典	医学・生理学	東京大学	東京工業大学
2018	本庶佑	医学・生理学	京都大学	京都大学
2019	吉野彰	化学賞	京都大学	旭化成

(出典) Nobel Prize. Orgのウェブサイトより国立大学協会事務局作成

8-6. 主要国等の研究者1人当たりの研究支援者数



(注1) 研究者1人当たりの研究支援者数は研究者数及び研究支援者数より文部科学省で試算。

(注2) 各国とも人文・社会科学を含む。

(注3) 研究支援者は研究者を補助する者、研究に付随する技術的サービスを行う者及び研究事務に従事する者、日本は研究補助者、技能者及び研究事務その他の関係者である。

(注4) フランスの値は推計値である。

(注5) 英国の研究者数の値は暫定値であり、研究支援者数の値は過小評価されている。

(注6) EUの値はOECDによる推計値である。

(出典) 文部科学省『科学技術要覧』(2019)より国立大学協会事務局作成

8. 研究(4)

8-7. 国内機関における論文数等ランキング

・化学（世界5位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合 (%)
1	東京大学	152	1.6%
2	京都大学	149	1.4%
3	物質・材料研究機構	107	2.7%
4	大阪大学	82	1.0%
5	産業技術総合研究所	80	1.2%
6	北海道大学	56	1.1%
6	東京工業大学	56	0.8%
8	九州大学	49	0.9%
9	名古屋大学	48	1.0%
10	東北大学	47	0.7%

・生物学・生化学（世界10位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合 (%)
1	東京大学	70	1.1%
2	京都大学	58	1.4%
3	理化学研究所	40	1.2%
4	大阪大学	30	0.7%
5	東北大学	19	0.7%
6	九州大学	17	0.7%
7	産業技術総合研究所	16	0.9%
8	情報システム・研究機構	14	3.4%
8	北海道大学	14	0.6%
10	慶應義塾大学	13	1.0%

・免疫学（世界9位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合 (%)
1	大阪大学	54	4.4%
2	理化学研究所	37	5.1%
3	京都大学	30	3.3%
4	東京大学	29	2.2%
5	慶應義塾大学	22	4.0%
6	千葉大学	13	2.7%
7	国立成育医療研究センター	9	3.8%
7	広島大学	9	3.2%
7	東京医科歯科大学	9	2.0%
7	順天堂大学	9	1.8%
7	国立感染症研究所	9	0.9%

・材料科学（世界8位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合 (%)
1	物質・材料研究機構	125	2.3%
2	東京大学	59	1.4%
3	東北大学	58	0.9%
4	産業技術総合研究所	54	1.5%
5	理化学研究所	34	3.8%
6	京都大学	31	0.9%
7	早稲田大学	20	2.3%
7	九州大学	20	0.7%
9	大阪大学	19	0.5%
10	北海道大学	17	0.8%
10	東京工業大学	17	0.6%

・地球科学（世界10位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合 (%)
1	海洋研究開発機構	78	2.0%
2	国立環境研究所	60	5.0%
3	気象庁気象研究所	35	2.9%
4	名古屋大学	26	1.5%
5	京都大学	25	1.0%
6	北海道大学	21	0.9%
7	高知大学	20	3.0%
8	宇宙航空研究開発機構	19	2.8%
8	九州大学	19	1.2%
10	東北大学	15	0.7%

・物理（世界6位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合 (%)
1	東京大学	449	2.6%
2	京都大学	233	2.4%
3	理化学研究所	209	2.6%
4	大阪大学	172	1.8%
5	高エネルギー加速器研究機構	163	3.2%
6	名古屋大学	162	2.6%
7	東京工業大学	161	2.5%
8	筑波大学	141	2.9%
9	物質・材料研究機構	129	2.5%
10	東北大学	123	1.2%

・植物・動物学（世界9位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合 (%)
1	理化学研究所	133	8.1%
2	東京大学	113	2.4%
3	京都大学	59	1.4%
4	名古屋大学	47	3.3%
5	岡山大学	45	3.9%
6	農研機構	39	2.9%
7	東北大学	37	2.7%
8	北海道大学	31	0.9%
9	国際農林水産業研究センター	26	6.8%
10	奈良先端科学技術大学院大学	25	5.1%
10	自然科学研究機構	25	4.9%

(注1) 日本の研究機関が著者所属機関に含まれる高被引用論文の総計が、世界順位で上位の分野から、日本の大学・研究機関を抽出している。
 (注2) 世界順位は、分野別における高被引用論文の総計の順位。
 (出典) クラリベイト・アナリティクス「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング 2020年版を発表」(2020年4月16日 日本時間)より国立大学協会事務局作成